

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970100776
法人名	医療法人 仁生会
事業所名	グループホーム ハッピー万々
訪問調査日	平成21年3月31日
評価確定日	平成21年6月29日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[取り組みを期待したい項目]
確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
[取り組みを期待したい内容]
「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970100776		
法人名	医療法人 仁生会		
事業所名	グループホーム ハッピー万々		
所在地 (電話番号)	高知市万々484-1 (電話)088-826-3040		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月31日	評価確定日	平成21年6月29日

【情報提供票より】(21年3月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 13 年 3 月 30 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	15 人
職員数	28 人	常勤15人, 非常勤13人, 常勤換算13.05人	

(2)建物概要

建物形態	併設 / <u>単独</u>	新築 / <u>改築</u>
建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000~28,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有(円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	14 名	男性	2 名	女性	12 名	
要介護1	6 名	要介護2	1 名			
要介護3	3 名	要介護4	4 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	83.6 歳	最低	63 歳	最高	98 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	細木病院 細木ユニティ病院 岡林歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は民家を改造した建物である。住宅地にあり、近くに大型スーパー、コンビニ、交番があり、恵まれた立地条件である。2ユニットが隣合わせで自由に行き来ができ、広間には自然に利用者が集まり賑やかな笑い声がして表情も明るく、ホームが居心地のよい居場所であることが感じられる。母体法人の医療機関と連携して重度化や看取りの支援体制も確立しており、安心して生活が送れる事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善課題7項目のうち、事業所独自の理念の作成、本人、家族の意見、要望を反映した介護計画の作成など5項目は改善されているが、同業者と交流する機会づくりや苦情の発生要因の分析と対応については、引き続き、質の向上を目指して改善に取り組むことが望まれる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ユニット毎に職員が分担して自己評価を行い、職員会等で話し合い管理者が取りまとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	昨年までは同じ地区内にある法人のグループホームと合同で開催していたが、本年度から事業所独自で開催し、事業内容や外部評価の結果等の報告を行っている。会議録が簡素化され、質疑の内容や経過の確認ができないので、会議録の作成について検討を行いサービスの向上に活かしていくことを期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会も2事業所合同の開催から事業所独自の家族会として立ち上げ改善されている。今後、家族同士が話し合う時間をとり、本音で話し合い事業所に意見を伝えてもらう仕組みの検討や、些細な要望や苦情でも職員会で話し合い、その要因を分析してサービスの質の向上を図る取り組みを期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区の小学校の運動会の見学に行ったり、散歩コースの地域の方への声かけなど交流に努めている。防災訓練に地域住民の参加を呼びかけているが協力は得られていない。町内会に入っているため、今後、地域活動や行事への参加、ホームの行事等の情報発信などを積極的に行い、地域密着型の特徴である「地域との支えあい」をより一層実践されることを期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 前回の改善課題として職員で話し合い、「利用者の立場にたって、人としての尊厳・権限を尊重し家族や地域の方々と交流を大切にしながらご自分らしい生活を送って頂けるよう支援します」という独自の理念を作成している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員会等で話し合い、意識づけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 人生の先輩として尊敬し、利用者の立場に立った言葉かけなどに留意して取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 小学校の運動会見学などにとどまり、本年度に関しては清掃等の地域活動に参加していない。	○	地域の一員として町内会に参加しており、利用者やホームについて、より理解を深めてもらう意味でも、清掃活動や地域の行事に積極的に参加し、地域に溶け込んでいくことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員が分担して自己評価を行い、職員会等で話し合い管理者が取りまとめている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の改善課題について全職員で話し合い、優先順位や期間の設定など改善計画書を作成し、取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 本年度から、事業所単独開催に切り替えている。事業所から事業内容や外部評価の結果等について報告し、参加メンバーから質問や意見はあるようだが、会議録が簡素化され具体的内容が確認できなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 外部評価の結果と改善計画について報告している。	○	会議録が簡素化され会議で出された意見等の確認ができないので、質疑の内容、経過を具体的に記載し、サービスの向上に活かしていくことを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 入居時や困難事例のケアについて、その都度相談し、問題の解決に繋げている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪時に近況を報告し、話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 毎月のホーム便りを送付する際、手紙を添えて利用者の近況を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 変化や問題があれば、直ぐに家族に電話で報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭出納帳のコピーを毎月送付するとともに、来訪時に確認印をもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 昨年度までは、2グループホーム合同で家族会を開催していたが、本年度から事業所単独の家族会を開催している。しかし、家族同士が話し合い、意見等を出す仕組みまでにはいたっていない。 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情箱の設置や家族に対する苦情アンケートは実施している。	○	家族会で家族同士が話し合う時間をとり、本音で話し合い事業所に意見を伝えてもらう仕組みを検討することを期待したい。また、些細な要望や苦情でも、職員会で話し合い、その要因を分析しサービスの質の向上を図る取り組みを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 新任職員については、日勤や夜勤の引き継ぎを1週間程度行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 全職員が業務として研修に参加できる体制になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修内容を職員会で報告し、全職員が共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 全国及び県内の宅老所・グループホーム連絡協議会に加入している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 法人内グループホームとの交流のほか、本年2月から市内西部地域グループホーム連絡会に加入し同業者との交流の輪を広げ、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居時に心身の状況、病歴、生活歴、趣味などを聴取し、入居後のケアに活かしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人、家族に事業所の見学や、おやつを一緒に食べるなどの体験をもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>入居希望者には管理者と職員で面接している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者に山菜の料理の仕方、ラッキョウのつけ方を教えてもらったり、県外出身の職員から方言を披露するなど、和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>さりげない声かけや会話の中で、利用者の変化を把握し、喜怒哀楽を共に体感できるように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の生活の関わりの中で、会話や表情から、その思いや意向を把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族や関係者からの情報のほか、本人の表情や態度から把握するように努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>家族の来訪時に状況を伝え、意見や要望を聞き介護計画に反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>毎月の職員会で全員が意見交換を行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3カ月毎に見直しを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>利用者の状況の変化や家族からの要望があった場合は、その都度検討し見直ししている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>毎週、看護師による健康管理を行うほか、24時間体制で看護師に相談できる体制がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>緊急時など家族の通院同伴が困難な場合は、職員が柔軟に対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 本人や家族の希望する医療機関で受診できている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 基本的には家族が対応しているが、状況に応じて事業所でも支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 同伴家族からの聞き取りや職員の報告を業務日誌、個人記録に記載し、情報を共有している。		
19	47	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 重度化の指針は作成されている。重度化、看取り介護について同意書も整備し、利用者に応じて家族、医師、看護師、職員で話し合える体制になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられように取り組んでいる。 今までに取り組んだ事例もあり、事業所として母体法人の医療機関とも連携し、安心して納得した最期が迎えられよう体制は整っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 トイレの誘導時にはさりげなく声かけするなど、一人ひとりの尊厳を傷つけないように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 日々の業務の中で、お互いが注意し合いながら取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報保護法についての理解を深めるよう、職員会で話し合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 一人ひとりのその日の体調に合わせて、散歩や近くのスーパーに買い物に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 基本的な流れはあるが、利用者のペースに合うように支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 調理の下ごしらえ、盛り付け、片付けなど一緒に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 利用者と職員が同じテーブルを囲み、和やかに食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 基本として午後(13:30~16:00)に入浴しているが、希望に沿って時間変更もしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 利用者の生活歴や経験を把握し、調理の仕事をしていただけの方に味付けをしてもらうなど、個々の利用者の役割や楽しみごとに沿った場面を作り、支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 洗濯物干しや食事の下準備など役割を担ってもらっている。利用者の趣味(バイク好きなど)の話などしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 自宅の近所をドライブしたり、季節の草花を散策する際に馴染みの地域に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 希望に応じて散歩や近所のスーパーへ買い物に行っている。また、季節の花見等のドライブに出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 利用者が外出しそうな様子を察知したらさりげなく声をかけたり、一緒についていくなど安全面に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 散歩時の挨拶や移動の八百屋が来た時は近所の方と一緒に買い物をするなど、見守り、声掛けをしてもらえる関係が築けている。		
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 地域へ声掛けし、年2回消防訓練を行っているが、地域住民の参加、協力は得られていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 近隣の法人内グループホームと協力体制を整え、お互いに連携して避難路や避難場所を確保している。非常用食料、備品も準備している。	○	災害時における地域住民の協力は不可欠であるので、引き続き地域へ呼びかけ、地域住民の参加、協力を得て避難訓練を実施することが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>食事、水分の摂取量について、利用者個人毎に記録し把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>食事バランスに配慮して食事量、食事形態など個別の対応ができています。誕生日、祝日にはノンアルコールのビールで乾杯をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>年1回法人の栄養士のチェックを受けている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>ソファやテレビを置き居心地がよく安心して過ごせる共用空間となっており、自然と利用者が集まってきている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>利用者と一緒に作った国旗が壁に飾っており、WBC(野球)観戦の余韻が残っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関に花を活け、プランターを置くなど、季節感を演出している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>鏡台、タンス、テレビ、仏壇、縫ぐるみが置かれ、その人らしい部屋になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		